

札幌市の行政評価

平成 27 年度版

行政評価とは？

施策や事業の定期的な
診断ツールです

市が実施する全施策・予算事業を対象として、定期的かつ継続的に実施結果の検証を行うとともに、課題を明らかにし、今後の方向性を検討します。

自己改善ツールです

事業を実施している立場で主体的に施策や事業を評価し、その結果を自らの仕事に活かしていきます。

市民の皆さんへの
情報提供ツールです

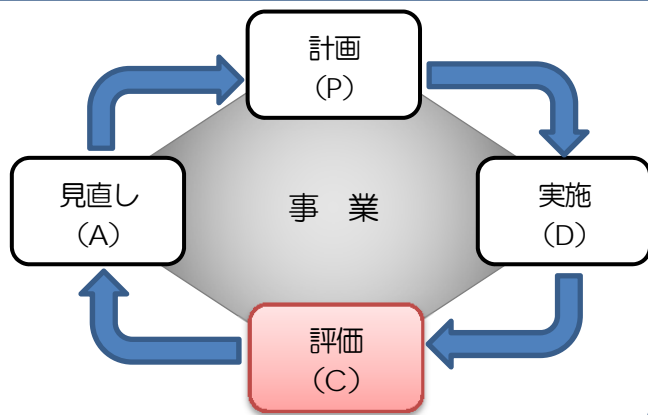
評価調書は公表し、市政運営の現状や課題、さらに見直しの検討過程を市民の皆さんに積極的に情報提供していきます。

事業は「計画～実施～評価～見直し」のサイクルで毎年繰り返されています。

行政評価は、サイクルの中の「評価」の役割を担う仕組みです。

- ◆ 事業の必要性は高いのか
- ◆ 役に立っているのか
- ◆ 効率的に実施できたか

など、様々な角度から点検・評価を行います。



行政評価の方法

内部評価

① 検討課題の提起

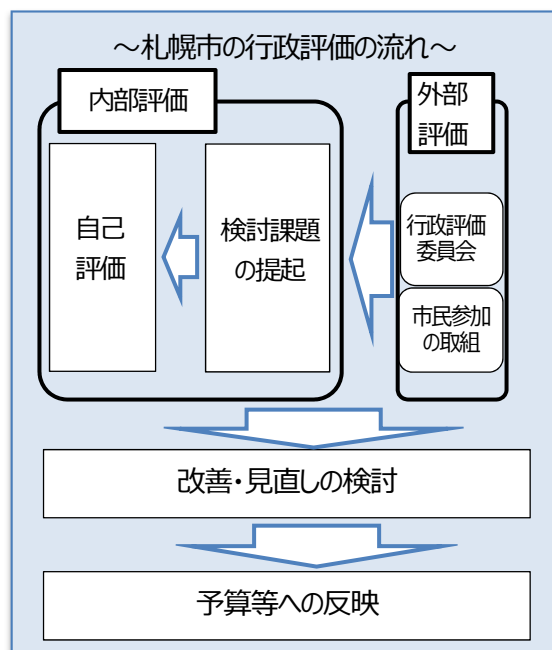
これまでの見直し・改善の状況を踏まえ、全市的な方針に基づく総合的・組織横断的な視点から、事業所管局によるさらなる見直し・改善に向けて検討すべき課題の提起を行います。

② 自己評価

全ての予算事業について評価調書を作成し、見直しや改善に向けて、事業所管局による自己評価を行います。

外部評価

市外部の有識者からなる「行政評価委員会」が施策・事業を選定し、客観的な視点による評価を行います。また、特に市民目線・市民感覚を踏まえる必要性が高いテーマについては、市民が直接参加する「市民参加の取組（ワークショップ）」を実施します。



行政評価の結果(概要)

内部評価の結果

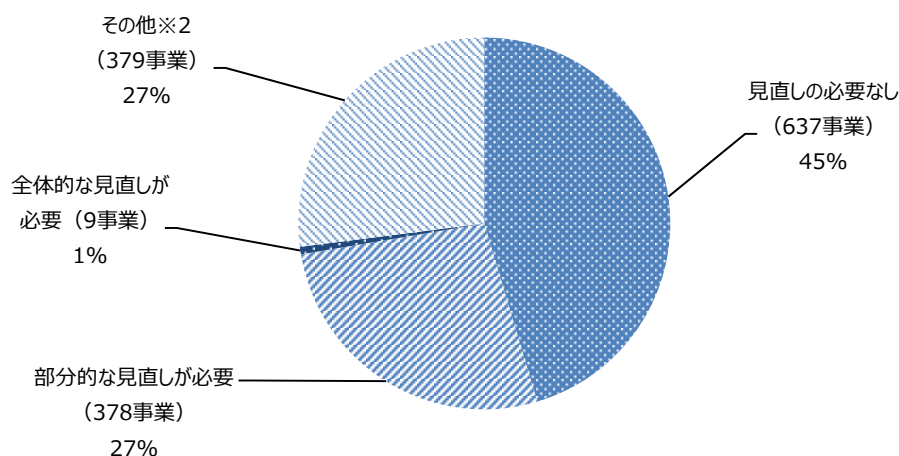
平成 27 年度の行政評価の結果、
約 8 億 6 千万円の見直し効果額[※]を平成 28 年度予算に反映しました。

※自己評価と検討課題の提起における見直し額の合計

自己評価の結果

◆ 評価対象数 36 施策 - 1,403 事業 (平成 26 年度に実施した事業)

<自己評価の判定結果^{※1}>



※1…上記判定結果は、検討課題の提起を踏まえて事業所管部局が評価したものを含む。

※2…内部事務費などの判定省略分

検討課題の提起の結果

◆ 評価対象数 36 項目 【見直し効果額 (平成 28 年度予算) 280,588 千円】

総合的・組織横断的な視点に基づき、36 項目について指摘を行いました。

そのうち 9 項目について、平成 28 年度予算に約 2 億 8 千万円の見直し効果額を反映しました。

主な項目は以下のとおりです。

◆事業の内容やあり方等の見直し	効果額 (千円)	◆民間活用の推進	効果額 (千円)
・学校事務員の業務執行体制の見直し	137,800	・道路パトロール業務の委託の拡大	18,553
・学校事務員の業務執行体制の見直し	73,754	・学校給食調理業務の委託の拡大	5,671
・家庭ごみ収集体制の見直し	31,602		

外部評価の結果

行政評価委員会による評価の概要

札幌市行政評価委員会では、平成 26 年度に実施した予算小事業 1,403 事業とその上位目的である 36 施策のうち、次の3施策 30 事業を評価の対象としました。また、今年度は、「検討課題の提起」の指摘事業も評価対象とし、特に見直し・改善の取組が進んでいないもののうち、今回の行政評価で対象となった施策に関連性の高いものについても、合わせて評価を行うこととしました。

指摘の総数は 24 件ありました。今後は、指摘事項について改善・見直しの検討を進め、フォローアップしていきます。

※札幌市行政評価委員会(委員長:吉見宏《北海道大学大学院経済学研究科教授》、副委員長:石井吉春《北海道大学公共政策大学院教授》、委員 3 名:石川信行《公認会計士》、吉田聡子《(株)桐光クリエイティブ代表取締役》、上岡由紀子《弁護士》)

評価対象施策／事業	指摘数	主な指摘事項
<p>1 子育てと仕事などの両立支援</p> <p>「児童会館運営管理費」「さっぽろ子育てサポートセンター事業費」等、保育サービスや児童の放課後の居場所づくりなどに関連する 20 事業(「検討課題の提起」の指摘事業 3 項目を含む)</p>	12	<p>◎民間事業者との連携について 公立の児童会館では満たすことができない利用者ニーズを補完できるように民間事業者と連携を進めること。</p> <p>◎児童会館、ミニ児童会館の利用者ニーズ・満足度の把握について 児童会館とミニ児童会館について、別々に、利用者ニーズ・満足度等の把握を行い、結果を総合的に分析し、今後の整備に活用すること。その際は、例えば、外部のアドバイザーの活用などにより、アンケートの取り方を工夫すること。</p> <p>◎札幌市が実施している子育て制度の情報の集約化について 子どもを出産してから将来にわたってどのような支援策があるかを一覧にして示すこと。情報提供の際は、母子手帳と一緒に一覧にしたパンフレットを渡すことや、ホームページで検索できるキーワードを書いた紙片を手渡すなどの工夫をすること。</p>
<p>2 札幌の経済を支える企業の基盤強化と創業・人材育成の促進</p> <p>「経営革新支援資金貸付金」「女性起業家育成事業費」等、中小企業への融資や新規事業への支援などに関連する 8 事業</p>	12	<p>◎経済振興策における求められる人材の分析について 女性起業家の実態を把握するとともに、女性起業支援やものづくり人材育成などについて、具体的にどのような人材が求められているのか分析すること。</p> <p>◎経営戦略としてのデザイン活用について 本来デザインは経営戦略と直結しているのに、まだまだ意識のない事業者に対して、例えば、成功例や活用例を用いるなど、どのように普及させていくか検討すること。その際は国の施策との連携も考慮すること。</p> <p>◎市の政策目標に関する経済的な側面を意識した札幌市の政策目標の設定について 例えば、子育てや観光、健康などの事業分野において、各事業所管部局に経済的な側面を意識した政策目標を設定してもらえるように、経済局が主体となって、関係部局との積極的な相互連携や調整、共通認識の醸成に努めること。</p> <p>◎食や観光等の分野における札幌市の役割の明確化について 次期札幌市産業振興ビジョンでは、「食」や「観光」等の分野における、道内のみならず国内での札幌市の役割を明確化、具体化し、市民や企業に示すこと。</p>
<p>3 札幌市経済の成長を牽引する重点分野の振興</p> <p>「札幌ものづくり開発推進事業補助金」「バイオ産業連携構築事業費」の成長分野における企業への補助に関連する 2 事業</p>		

市民参加の取組（市民参加ワークショップ）の概要

市民参加の取組は、市民生活への密着度が高い次の2つの施策をもとに対象テーマを設定しワークショップを実施しました。

【対象テーマ(施策)】

- ①市民がスポーツや健康づくりに親しむ身近な環境づくり
- ②市民がウインタースポーツにもっと親しむ環境づくり

実施にあたっては、対象テーマに関連する市の取組について、施策目的の実現のために、市の取組はどうあるべきかという観点から、全3回にわたって議論を行っていただきました。（参加者 41 名）

改善提案については、今後の事業の見直しに向けた検討材料の一つとし、改善の方向性が明確になったものは、順次、予算編成へ反映させていきます。また、課題のあるものについては、中長期的な視点で引き続き見直しに向けた検討を行います。

市民参加の取組（市民参加ワークショップ）における市民意見（抜粋）

◆テーマ①：市民がスポーツや健康づくりに親しむ身近な環境づくり

市民目線から見た現状と課題	主な取組	事業への主な改善提案
<ul style="list-style-type: none"> ● イベントや大会の情報が行き渡っていない ● 施設を利用する上でのハードルがある ● 市民の意識が足りない ● 運動する仲間がいと良い ● 運動していない、できない人へのアプローチが必要 ● 子どもが気軽に体を動かす環境が少ない 	学校開放事業	・場所の不足に対応するため、プール開放の日数を増やす。その監視のため地域のボランティアを育成する
	市民交流ウォーキング大会	・回数を増やして、様々な年代が参加できるようにする
	ウォーキング推進キャンペーン事業	・チカホにも距離やカロリーを表示する ・ウォーキングの「事後」の声を「生の声」としてPR する ・階段のメッセージを市民から募集する
	健康づくりサポーター等派遣事業	・運動のステップアップのトータルコーディネーター支援の仕組みを取り入れる ・サポーターの人数を増やすと良い

◆テーマ②：市民がウインタースポーツにもっと親しむ環境づくり

市民目線から見た現状と課題	主な取組	事業への主な改善提案
<ul style="list-style-type: none"> ● 雪遊びを含め気軽にウインタースポーツをする環境の不足 ● お金がかかる（施設の利用料金や交通費、道具が高い） ● 取組のPR や指導者が不足 	ノルディックスキー札幌大会記念ウインタースポーツ活性化事業	・いろいろな「雪遊び」を伝え、体験の機会を増やす ・北政などの冬の遊びを取り入れるため外国人の参加を促進する
	地域スポーツマスター活用事業	・スポーツだけでなく、冬の遊びを伝える「遊びマスター」がいると良い

札幌市 市長政策室 改革推進部 推進課

〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目 札幌市役所 10階北側

電話：011-211-2061 FAX：011-218-5194

Eメール：kaikaku@city.sapporo.jp

ホームページ：http://www.city.sapporo.jp/somu/hyoka/index.html

SAPPORO



さっぽろ市
02-A03-15-1964
27-2-1126